

京都議定書発効2周年特別開催イベント  
 「すぐそこにある温暖化の危機 ～あなたの選択が未来を変える～」  
 開催について（お知らせ）

平成19年2月2日（金）  
 環境省地球環境局地球温暖化対策課  
 国民生活対策室  
 （代表：03-3581-3351）  
 （直通：03-5521-8341）  
 プロジェクトリーダー：吉野 議章（内：6763）  
 担 当：林、清武（内：6793）



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

2月14日（水）・15日（木）、京都議定書発効2周年特別開催イベント「すぐそこにある温暖化の危機～あなたの選択が未来を変える～」が新宿パークタワーにて開催されます。

このイベントは、2007年が京都議定書の第1約束期間（2008～2012年）の前年に当たり、日本が約束した温室効果ガス排出量の6%削減を実現する上で節目の年となることを踏まえ、地球温暖化についての最新の科学的知見を提供するとともに、温暖化防止のために今私たちにできることは何かについて考えることを目的として実施されるものです。

展示プログラムとして、家電製品を中心とした環境技術の進歩によるCO<sub>2</sub>排出量の変化を視覚的に表現した特別展示（2月14日・15日）が、また、ステージプログラムとして、「温暖化の危機と向き合うとき」と題した特別セミナー（2月14日）と、地球温暖化の現状を理解し未来を変えるための選択を話し合う記念トークセッション（2月15日）が行われます。

プログラムの詳細については別紙をご参照ください。

京都議定書は2005年2月16日に発効しました。

### 開催概要

【日 時】 2月14日（水） 特別展示 12:00～20:00  
 特別セミナー 16:30～19:00（報道受付15:50）  
 15日（木） 特別展示 12:00～20:00  
 記念トークセッション 18:00～19:30（報道受付17:30）

【場 所】 パークタワーホール（新宿パークタワー3F：新宿区西新宿3-7-1）

【主 催】 京都議定書発効2周年特別開催イベント実行委員会

（環境省、全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）、独立行政法人国立環境研究所、日本環境ジャーナリストの会）

【協 力】 電機・電子温暖化対策連絡会 <（財）家電製品協会 / 情報通信ネットワーク産業協会 / （社）電子情報技術産業協会 / （社）日本電機工業会 / （社）ビジネス機械・情報システム産業協会>  
 電気事業連合会、（社）日本ガス協会、（社）日本照明器具工業会、（社）日本電球工業会

【取材について】 別紙 「取材申込書」にてお申込みください。（〆切：2月8日（木）18:00）

【 開催概要 】

京都議定書発効10周年特別開催イベント

**すぐそこにある温暖化の危機 ~あなたの選択が未来を変える~**

2/14(水)、15(木) 12:00~20:00

特別展示 ~見える環境技術 見えるCO<sub>2</sub>~ ( 詳細は資料 )

家庭から出るCO<sub>2</sub>は、2005年度には、1990年度比で37%も増加しました。

特別展示では、地球温暖化の推移や家電製品を中心とした環境技術の進歩を、パネルや展示品により解説します。また、過去と現在の各製品のCO<sub>2</sub>排出量の差を、巨大なバルーンを用いて視覚的に表現します。

2/14(水) 16:30~19:00

特別セミナー ~温暖化の危機と向き合うとき~ ( 詳細は資料 )

IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change : 気候変動に関する政府間パネル) 第4次評価報告書第1作業部会報告書(自然科学的根拠)の内容や、第2作業部会報告書(影響・適応・脆弱性)への展望を、執筆担当の研究者が解説するほか、スターンレビューに見る気候変動の影響等の情報を提供します。また、地球温暖化防止における報道等の役割を議論します。

2/15(木) 18:00~19:30

記念トークセッション ~あなたの選択が未来を変える~ ( 詳細は資料 )

自身が担当する番組等で温暖化について問題提起されている別所哲也氏(俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表)、『気候変動+2』で温暖化の危機を分かりやすく解説する山本良一氏(東京大学生産技術研究所 教授)らが出演し、京都議定書の約束達成のために、私たちがとるべき行動、エコ製品の役割などを話し合います。

## 特別展示 「見える環境技術 見えるCO<sub>2</sub>」

家庭から出るCO<sub>2</sub>は、2005年度には、1990年度比で37%も増加しました。

特別展示では、地球温暖化の推移や家電製品を中心とした環境技術の進歩を、パネルや展示品により解説します。また、過去と現在の各製品のCO<sub>2</sub>排出量の差を、巨大なバルーンを用いて視覚的に表現します。

<開催日時> 2月14日(水)、15日(木) 12:00~20:00

<対象> 一般公開

<参加要件> 事前登録不要・無料(自由に観覧いただけます。)

<展示構成>

### CO<sub>2</sub>排出量の可視化

1990年製の製品を1カ月使い続けた場合のCO<sub>2</sub>排出量と、2007年製の製品を1カ月使い続けた場合のCO<sub>2</sub>排出量を、透明の円柱型バルーンやグラフィックで表現。

### CO<sub>2</sub>排出量削減を実現した環境技術の解説

各製品部品や解説パネルを掲出し、環境技術を解説。

### 地球温暖化の進行と私たちの生活

18世紀以降の地球温暖化の状況、生活様式の変化等を分かりやすく解説。

## 特別セミナー「温暖化の危機と向き合うとき」

I P C C ( Intergovernmental Panel on Climate Change : 気候変動に関する政府間パネル) 第4次評価報告書第1作業部会報告書(自然科学的根拠)の内容や、第2作業部会報告書(影響・適応・脆弱性)への展望を、執筆担当の研究者が解説するほか、スターンレビューに見る気候変動の影響等の情報を提供します。また、地球温暖化防止における報道等の役割を議論します。

<開催日時> 2月14日(水) 16:30~19:00(受付開始は 15:50)

<対象> 報道関係者、企業の広報・環境担当者など

<参加要件> 事前登録制・無料( 座席のみ。立ち見の場合は自由に観覧いただけます。)

<申込方法> メール又はFAXにて、以下の宛先にお申し込みください。

E-mail : info@team-6.net

タイトルを「京都議定書発効2周年特別開催イベント参加申込」とし、氏名(お勤め先・部署名)、連絡先(電話番号・FAX番号・E-mail)を記載願います。

FAX : 別紙 「参加申込書」にてお申し込みください。

取材の方は、別紙 「取材申込書」にてお申し込みください。

<参加人数> 先着120名

<司会> 村田佳壽子氏(日本環境ジャーナリストの会 理事・フリーアナウンサー、ワールドウォッチ研究所日本副代表)

<プログラム>

16:30 第一部「一人ひとりに伝えるために」

環境省地球環境局国民生活対策室プロジェクトリーダー 吉野議章

- ・『チーム・マイナス6%が目指すもの』(15)
- ・Q&A(5)

日本環境ジャーナリストの会 竹内敬二氏(朝日新聞社編集委員)

- ・『温暖化問題の難しさとジャーナリズムの役割』(30)
- ・Q&A(10)

17:30 (休憩:10分間)

17:40 第二部「温暖化研究の最前線」

(独)海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター  
特任研究員 近藤洋輝氏

- ・『IPCC第4次評価報告書の第1作業部会報告』(30)
- ・Q&A(10)

(独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域 領域長 原沢英夫氏

- ・『温暖化の影響に関する昨今の新しい知見(スターンレビューを含む)』(30)
- ・Q&A(10)

(19:00 閉会)

## 記念トークセッション 「あなたの選択が未来を変える」

自身が担当する番組等で温暖化について問題提起されている別所哲也氏(俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表)、『気候変動+2』で温暖化の危機を分かりやすく解説する山本良一氏(東京大学生産技術研究所 教授)らが出演し、京都議定書の約束達成のために、私たちがとるべき行動、エコ製品の役割などを話し合います。冒頭、若林環境大臣が会場に駆けつける予定です。

<開催日時> 2月15日(木) 18:00~19:30 (受付開始は17:30)

<対象> 一般公開

<参加要件> 事前登録制・無料( 座席のみ。立ち見の場合は自由に観覧いただけます。)

<申込方法> メール又はFAXにて、以下の宛先にお申し込みください。

E-mail : info@team-6.net

タイトルを「京都議定書発効2周年特別開催イベント参加申込」とし、氏名(お勤め先・部署名)、連絡先(電話番号・FAX番号・E-mail)を記載願います。

FAX : 別紙 「参加申込書」にてお申し込みください。

取材の方は、別紙 「取材申込書」にてお申し込みください。

<参加人数> 先着120名

<出演者> **2月9日付変更後**

工藤博之 氏((財)省エネルギーセンター技術部部長)

別所哲也 氏(俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表)

八塩圭子 氏(フリーアナウンサー)

山本良一 氏(東京大学生産技術研究所 教授)

<プログラム> (予定) **2月9日付変更後**

18:00~ 若林環境大臣から挨拶  
フォトセッション

18:15~ トークセッション

19:20~ Q&A

19:30 閉会

工藤博之(くどう ひろゆき) (財)省エネルギーセンター 技術部 部長

1974年(株)日立製作所入社。電力系統保護制御システムの研究開発担当。  
 1997 工学博士  
 1998 広島大非常勤講師  
 1999年(財)省エネルギーセンター技術部部長。技術開発,技術戦略,省エネ大賞等担当

別所哲也(べっしょ てつや) 俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表

<趣味> ドライブ・トレッキング・アメフト観戦  
 <主な出演代表作品> 映画:「クライシス2050」(1990)、「パラサイト・イヴ」(1996)  
 ドラマ:「デッサン」(NTV)、「魔女の条件」(TBS)、「逃亡者」(TBS)、「風のハルカ」(NHK)  
 舞台:「レ・ミゼラブル」(2003~)、「ミス・サイゴン」(2004)、「34丁目の奇跡」(2004)、「ナイン ザ・ミュージカル」(2005)、「ウーマン・イン・ホワイト」(2007)  
 ラジオ:「J-WAVE GOOD MORNING TOKYO」(J-WAVE)、「東京コンシェルジュ」(J-WAVE)、「The Dream Magic」(FM大阪)  
 1990年、ハリウッド映画「クライシス2050」でスクリーンデビュー。米国映画俳優組合(SAG)会員となる。帰国後、数多くの映画・ドラマ・舞台等に出演。俳優以外にも、オリンピック番組でのメインキャスターや、米国アカデミー賞授賞式のリポーターなどを務めた。  
 また、1999年より、日本発の短篇映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル」を主宰。2004年には、米国アカデミー賞公認映画祭に認定された。  
 公式サイト:www.T-voice.com

八塩圭子(やしお けいこ) フリーアナウンサー

<趣味> オペラ・クラシック鑑賞、水泳、スキューバダイビング  
 <経歴> 1993年 テレビ東京入社。報道局経済部記者を経て、同局アナウンス室へ。  
 2002年より法政ビジネススクールでマーケティングを専攻、2004年に修了(MBA取得)  
 2003年6月付で同局を退職しフリーアナウンサーとして活動を開始。  
 <現在の活動>  
 関西学院大学商学部にて助教授に就任  
 レギュラー番組: CX「めざましどようび」メインキャスター、  
 J-WAVE「JAM THE WORLD」DJ水曜日担当、BSJ「ベンチャー必勝の法則」メイン司会  
 連載:「みんなのもんだい」(LEE)、「モテるおやはクラシック」(モーストリークラシック)

山本良一(やまもと りょういち) 東京大学生産技術研究所 教授

74~76年マックス・プランク金属研究所客員研究員。  
 78~80年ブリティッシュコロンビア大学中間子研究施設μSR国際共同研究。  
 81年東京大学工学部金属材料学科助教授。88年東京大学先端科学技術研究センター教授。  
 92年東京大学生産技術研究所教授。専門は材料科学、持続可能製品開発論、エコデザイン。

文部科学省科学官、日本LCA学会会長、環境効率フォーラム会長、国際グリーン購入ネットワーク会長、「エコプロダクツ」展示会実行委員長、北京大学、精華大学など中国の32大学の客員教授を歴任している。